

収穫後の圃場管理②（獣害対策）

稲わらの「すき込み」を行いましょう



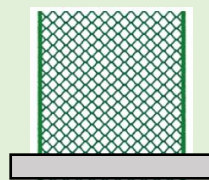
餌が少ない冬場、「ひこばえ」は格好の栄養源です！

- ・滋賀県試験場の調査によると、早生品種の「ひこばえ」再生量は200kg/10a程度になります。シカは1日約2kg生草を食べるため、10aの田んぼで冬期3か月間、1頭のシカを養う計算になります！
- ・すき込みはプラウで行うと埋没効果が高くなりますが、ロータリー耕についても、PTO変速を1つ上げて、回転数を30%程度上げることで、効率よくを埋没できます！

冬場の防護柵管理について

〈金網柵の場合〉

- ・柵同士の隙間や地際の穴からイノシシ等は侵入します。冬場に点検・修繕を行いましょう！
(地際はハウスパイプなどで補強すると穴を開けられにくくなります！)



〈電気柵の場合〉

- ・電気柵を撤去までは、24時間通電、電源を切った場合はすぐ片付けましょう！



通電してない電柵に触れることで「危険でない」と覚えます

11月の水稻勉強会は土づくり(堆肥の種類・効果)についてです！

- ・11月13日(木)18時から、豊肥振興局・大会議室にて行います。
- ・詳しい情報については、豊肥振興局 集水二班(63-1301)にご連絡下さい！

豊肥振興局HP
からカラーで見
れます！大分県農業協同組合豊肥営農経済センター 営農部 農産課 63-4994
大分県豊肥振興局生産流通部 集落営農・水田畑地化第二班 63-1301